

問1 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。

(2017年 富山県公立入試 類似)

1. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
2. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
3. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
4. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため

問2 東京都中央卸売市場におけるナスの月別入荷量を確認すると、群馬県産が夏から秋にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、高知県産は1月から5月にかけて毎月1000トン以上の高い入荷量を示し、夏になると減少するという対照的な動きが見られます。高知県がこのような出荷計画を立てている理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。
2. 夏の台風被害を避けるため、あえて収穫時期を冬から春のみに限定しているため。
3. 高知県は夏場の気温が非常に高くなるため、ビニールハウス内の温度管理が不可能になるから。
4. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない冬場に栽培を集中させているから。

問3 瀬戸内地方において、一年を通じて降水量が少なく、温暖な気候になる理由として、地形の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。

(2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、湿った季節風がこれらの山地で遮られるため。
2. 周囲に高い山地が全く存在せず、乾燥した大陸の空気が直接流れ込み続けるため。
3. 日本アルプスのような高い山脈が冷たい北風を完全に遮断し、南からの暖流の影響のみを受けるため。
4. 広大な平野が広がっているため、上昇気流が発生しにくく、雲が発達する要因が乏しいため。

問4 中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 出先機関
2. 地方公共団体
3. 特別区
4. 独立行政法人

問5 1990年代から2000年代初頭にかけての、徳島県と日本全国の小売業の動向について、売場面積の変化から読み取れる共通の背景として最も適切なものはどれですか。

(2024年 京都公立入試 類似)

1. 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。
2. 徳島県では売場面積が急激に減少したが、全国的には2007年まで右肩上がりでも推移していた。
3. 全国の売場面積は1991年から1994年にかけて約100万平方メートル減少しており、徳島県のみが拡大していた。
4. 徳島県では2004年に100万平方メートルを超えたが、2016年の面積は2012年よりも大きくなっており、拡大が続いている。

問6 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県(22,047)、広島県(18,155)、香川県(12,269)となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。

(2024年 大阪公立入試 類似)

1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。
2. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダムとの代わりとして整備されたため。
3. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。
4. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。

問7 1988年に岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋が開通したことにより、本州と四国間の交通事情は大きく変化しました。1985年当時にはフェリーを利用して約120分から160分を要していた移動時間が、現在では自動車や鉄道の利用によって約40分にまで短縮されています。このような交通網の整備が地域に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。
2. 瀬戸内海の各所で大規模な埋め立てが進み、沿岸部すべてが工業団地へと変化した。
3. フェリーの利用者がさらに増加し、港を中心とした新しい商業圏が形成された。
4. 本州からの人口流入を抑えるため、橋の利用が貨物列車の運行のみに制限された。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が 道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問2	<b>答え 1</b> 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせて することで、市場価格が高い時期に有利に 販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と、それを欲しがる量（需要）のバランスで決まります。群馬県などの露地栽培が盛んな地域からナスが多く出荷される夏場は価格が下がりやすいため、高知県ではビニールハウスを用いて時期をずらすことで、競合が少ない冬から春の高値の時期に収益を確保する戦略をとっています。
問3	<b>答え 1</b> 北の中国山地と南の四国山地に挟まれて おり、湿った季節風がこれらの山地で遮 られるため。	日本の気候は季節風の影響を大きく受けますが、瀬戸内地方は二つの山地に囲まれた盆地のような地理的条件にあります。夏の南東の季節風は四国山地に、冬の北西の季節風は中国山地にぶつかって雨や雪を降らせるため、それらを越えてくる空気は乾燥しており、瀬戸内には雨が少なくなります。
問4	<b>答え 1</b> 出先機関	広島市は広島県の県庁所在地であるだけでなく、中国・四国地方全体をまとめる役割を担っています。このような都市には、国の各省庁が業務を分担するために設置する「出先機関」や、企業の「支店」が集中します。これらは、その地域における行政や経済の管理・調整を行う重要な機能を果たしています。
問5	<b>答え 1</b> 徳島県と全国のいずれにおいても、この 時期に売場面積が増加しており、商業活 動の規模が拡大していた。	徳島県では1991年から2004年にかけて面積が増加し、全国的な統計でも1991年の約117（百万平方メートル）から1994年の約125（百万平方メートル）へと増加しており、さらに2007年まで右肩上がりの傾向が続いていました。このように地方と全国が共通して、一定期間にわたり小売業の施設規模を拡大させていたことがわかります。
問6	<b>答え 1</b> 年間を通じて降水量が少なく、農業用水 を確保するために雨水を貯めておく必要 があったため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少ない「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。
問7	<b>答え 1</b> 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟ん だ対岸の都市への通勤・通学者が増加し た。	瀬戸大橋の開通によって、本州と四国の間が陸路で結ばれ、移動手段が従来のフェリーから自動車や鉄道へと変わりました。これにより移動時間が大幅に短縮され、岡山県と香川県の間で県境を越えて通勤や通学を行う人々が増えるなど、地域間の結びつきがより密接になりました。

問1 香川県において「ため池」が数多く作られてきた理由として、気候や地形の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 山地の影響で年間降水量が少なく、大きな河川も限られているため、水分不足を補う必要があったから。
2. 大規模な河川が頻繁に氾濫を起こすため、洪水による被害を一時的に食い止める遊水地が必要だったから。
3. 火山灰が堆積したシラス台地が広がっており、地表に水が溜まりにくいいため、人工的な貯水施設が必要だったから。
4. 冬に季節風の影響で大量の雪が降るため、春先の雪解け水を貯蔵して工業用水に転用する必要があったから。

問2 岡山県吉備中央町では、農業の活性化を目指して独自の取り組みを行い、果実の産出額を大幅に増加させました。この町が行った施策と、その結果として生じた農業経営の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)

1. 町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」として整備し、研修体制を整えたことで新規就農者が増加し、1戸あたりの経営規模が拡大した。
2. 海外からの安価な輸入果実に対抗するため、大規模な機械化による省力化を徹底したことで、農家1人あたりの労働時間が大幅に短縮された。
3. 都市近郊であることを活かして観光農園への転換を全面的に推奨した結果、農家数が増加し、多品目の農産物を少量ずつ生産する形態が定着した。
4. 伝統的な栽培技術を保護するために、特定の熟練農家のみに補助金を集中させた結果、希少価値が高まり、少量生産ながら産出額が維持された。

問3 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の移動手段を調査した統計において、1985年には全体の一定割合を占めていた船舶の利用が減少し、代わって自動車が全体の約3分の2を占めるほどに急増しました。このような交通手段の変化をもたらした主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 香川公立入試 類似)

1. 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。
2. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐために、旅客船の航行が全面的に禁止されたこと。
3. 鉄道網の高速化が進み、自家用車よりも鉄道による移動が一般的になったこと。
4. 格安航空路線の拡大により、人々の移動手段の大部分が航空機へ転換されたこと。

問4 中国・四国地方の各県の統計において、工業製品出荷額が10兆円を超え、他県に比べて際立って高い数値を示している県があります。この県の工業が盛んな理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)

1. 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。
2. 内陸部の交通網の整備に伴い、高速道路沿いに先端技術産業の工場が多数進出したため。
3. 広大な平野を活用した米作りや果樹栽培が盛んで、農業に関連する製造業が発展したため。
4. 県内全域に大規模な漁港が多く、水産加工業の出荷額が全国有数の規模であるため。

問5 ある地域の地形図において、標高約332mの山頂であるA点から、海岸沿いの平地であるB点までの断面図を作成する場合、等高線の読み取り方とその結果として得られる地形の記述について、適切なものはどれですか。 (2017年 和歌山公立入試 類似)

1. A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。
2. A点付近は等高線の間隔が広いいため、断面図では低い位置から始まり、B点に向かって標高が急上昇する。
3. A点とB点の等高線の間隔は等しいため、断面図では一定の傾斜を持つならかな斜面として描かれる。
4. A点とB点の間地点で等高線が最も密集しているため、断面図では中央が最も盛り上がった地形になる。

問6 統計資料において、県庁所在地の人口が約25万人、林業産出額が110億円という特徴を持つ徳島県について、その産業の背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 山形公立入試 類似)

1. 県域の多くを山地が占めており、豊富な森林資源を活用した木材生産が盛んに行われている。
2. 四国地方で最も平野の割合が高いため、林業よりも米作りや野菜の栽培が中心となっている。
3. 県庁所在地の人口が四国の中で突出して多く、都市化が進んでいるため林業は衰退している。
4. 降水量が極めて少ない地域であるため、森林の生育が難しく林業産出額は四国で最低である。

問7 本州西部の中国地方を東西に貫くように位置し、鳥取県や島根県側の山陰地方と、岡山県や広島県側の山陽地方の気候を分ける境界となっている山地の名称を答えなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)

1. 中国山地
2. 四国山地
3. 奥羽山脈
4. 鈴鹿山脈

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 山地の影響で年間降水量が少なく、大きな河川も限られているため、水分不足を補う必要があったから。	香川県の讃岐平野周辺は、四国山地によって南からの湿った空気が遮られるため、雨が降りにくい気候（瀬戸内の気候）にあります。また、急峻な山地が多く河川の距離も短いため、一度降った雨がすぐに海へ流れてしまうという地形的制約もありました。これらの理由から、安定的な農業経営を行うために「ため池」を築いて水を貯める仕組みが発達しました。洪水対策の遊水地は低湿地に見られる特徴であり、シラス台地は九州南部、積雪の利用は日本海側の地域で見られる特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」として整備し、研修体制を整えたことで新規就農者が増加し、1戸あたりの経営規模が拡大した。	岡山県吉備中央町では、町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」へと改良し、公社による研修体制を整備しました。この手厚い支援策によって、農業の新たな担い手となる新規就農者が確保されました。その結果、1戸あたりの経営面積（経営規模）が2014年の26aから2021年には37aへと拡大し、生産能力が高まったことで、果実全体の産出額が大きく増加するという因果関係が生まれています。
問3	<b>答え 1</b> 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。	神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルートという3つの本州四国連絡橋が整備されたことで、それまで船舶が中心だった四国と本州の間の交通が、自動車（自家用車、トラック、高速バス）へと大きく転換されました。これにより、天候に左右されにくい安定した輸送と、時間の短縮が可能になりました。
問4	<b>答え 1</b> 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。	山口県は、周南市や岩国市などの瀬戸内海沿岸を中心に、石油化学や金属、輸送用機械などの大規模な工場が集まる瀬戸内工業地域の一角を担っています。そのため、工業製品出荷額が非常に高く、中国・四国地方の中でも経済的な存在感が大きいのが特徴です。農業や漁業の産出額が最大であるという事実はなく、あくまで重化学工業が産業の中心となっています。
問5	<b>答え 1</b> A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。	断面図を作成する際、地形図上の等高線の密度は傾斜の度合いを直接反映します。山地であるA点付近は標高が高く等高線が密に描かれているため、断面図では高い地点から始まる急な斜面として表現されます。一方、港などの沿岸部であるB点付近は等高線がほとんど見られないため、断面図では標高が低く、変化の少ない平坦な地形として結ばれます。
問6	<b>答え 1</b> 県域の多くを山地が占めており、豊富な森林資源を活用した木材生産が盛んに行われている。	徳島県は県面積の約75%を森林が占めており、剣山山系などの険しい山地から良質な木材が産出されます。統計資料において林業産出額が100億円を超える背景には、このような地形的要因と豊かな森林資源があります。一方、平野が中心の香川県や、人口規模の異なる他の県とは、統計データ上の数値で明確に区別されます。
問7	<b>答え 1</b> 中国山地	中国地方の中央部を東西に走るこの山地は、比較的なだらかな山々が連なっているのが特徴です。この山地が障壁となることで、日本海側と瀬戸内側で異なる気候特性が生じます。

問1 本州四国連絡橋（瀬戸大橋）の開通に関連して、交通の高速化が社会にもたらした仕組みや背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

- フェリーによる海上輸送を完全に廃止し、すべての物流を鉄道輸送に一本化することを目的として建設された。
- 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。
- 橋の建設に合わせて周辺の海域がすべて埋め立てられたため、四国地方の深刻な水不足が解消されるきっかけとなった。
- 瀬戸内海沿岸に新しい工業団地を造成するために、橋の橋脚を利用した大規模な水力発電所の建設が行われた。

問2 日本の工業地域の特色について述べた次の文章の空欄にあてはまる産業として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。「瀬戸内工業地域の2021年における製造品出荷額等の構成をみると、全国平均では14.4%である産業の割合が、この地域では約20.5%に達しており、中京工業地帯の10.3%などと比較しても非常に高い割合を占めている。この産業は、倉敷市の水島地区などに形成されたコンビナートを中心に発展してきた。」（2025年 宮城県公立入試 類似）

- 化学工業
- 機械工業
- 金属工業
- 食料品工業

問3 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取公立入試 類似）

- 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと
- 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと
- 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと
- 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと

問4 中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

- もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。
- 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。
- 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。
- 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている

問5 中国・四国地方にある県のうち、県域の北側が広く日本海に面しており、瀬戸内海には面していない県はどこですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

- 鳥取県
- 広島県
- 兵庫県
- 香川県

問6 中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。（2024年 三重公立入試 類似）

- 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。
- 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。
- 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。
- 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。

問7 四国地方に位置する4つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県が2つあります。その県名と、それぞれの県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

- 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）
- 徳島県（徳島市）と愛媛県（松山市）
- 香川県（高松市）と高知県（高松市）
- 愛媛県（高松市）と香川県（松山市）

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。	瀬戸大橋は、上部に高速道路、下部に鉄道が通る「道路・鉄道併用橋」として建設されました。これにより、自家用車やトラックだけでなく、JRの快速列車や特急列車による迅速な移動が可能になりました。この交通インフラの整備は、本州と四国の経済的な一体化を促進する重要な背景となりました。
問2	<b>答え 1</b> 化学工業	2021年の統計において、瀬戸内工業地域は全国平均や他の中京・阪神といった工業地帯と比較しても、化学工業の製造品出荷額等の割合が高いことが大きな特色です。これは岡山県の倉敷市（水島）や山口県の周南市、岩国市などの沿岸部に大規模な石油コンビナートが整備されているという地域的な背景が影響しています。
問3	<b>答え 1</b> 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問4	<b>答え 1</b> もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問5	<b>答え 1</b> 鳥取県	中国地方は中国山地を境にして、日本海側の「山陰」と瀬戸内海側の「山陽」に分けられます。広島県や兵庫県、四国地方の香川県は瀬戸内海に面していますが、鳥取県は島根県とともに山陰地方に位置し、北側は日本海に面しています。この地理的条件により、冬には北西からの季節風の影響を受けやすいという特徴があります。
問6	<b>答え 1</b> 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	中国地方の工業は県ごとに特色があり、広島県はマツダなどに代表される輸送用機械、瀬戸内工業地域に属する山口県は石油化学、島根県は古くからの「たたら製鉄」の流れを汲む特殊鋼などの鉄鋼業が、統計上の特徴として表れます。各県の主要産業を正しく把握することが重要です。
問7	<b>答え 1</b> 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）	四国地方では、徳島県と高知県は県名と市名が一致していますが、愛媛県は松山市、香川県は高松市が県庁所在地となっており、県名とは異なります。特に「松山市」と「高松市」は名称が似ているため、どちらの県の都市であるかを正確に把握しておくことが重要です。

問1 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森

県公立入試 類似)

1. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
4. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。

問2 日本の諸地域のうち、四国地方の都市とその特徴について述べた文として、高松市の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。
2. 明石海峡大橋を通じて兵庫県と結ばれており、四国東部の交通の拠点となっている徳島県の県庁所在地である。
3. 四国地方で最大の人口を抱え、古くからの温泉や城下町としての歴史を持つ愛媛県の県庁所在地である。
4. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培が盛んに行われている高知県の県庁所在地である。

問3 中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

1. もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。
2. 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。
3. 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。
4. 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている。

問4 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。
2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。
3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。
4. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。

問5 2021年の統計において、みかんの収穫量が全国第2位(約12.78万t)であり、四国地方に位置する愛媛県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 高松市
2. 高知市
3. 松山市
4. 徳島市

問6 四国地方の東部に位置する徳島県の産業構造において、統計資料上、就業者割合が25.3%と高い数値を示し、全国平均と比較しても盛んであるといえる産業分野はどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 化学工業などの分野を中心とした製造業
2. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業
3. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業
4. 都市機能の集中による情報通信業

問7 岡山県倉敷市の水島地区に大規模なコンビナートが形成された地理的な背景や理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 愛知県公立入試 類似)

1. 遠浅の海を埋め立てて広大な工業用地を確保し、大型船が接岸できる港を整備したため
2. 近隣に大規模な炭鉱があり、エネルギー源となる石炭を安価に確保できたため
3. 高速道路網の結節点であり、自動車による製品の高速輸送に特化したため
4. 豊かな水資源と冷涼な気候を活かして、精密機械や電子部品の工場を誘致したため

問8 地図上で広島県西部の沿岸に位置し、中国・四国地方最大の人口を有する都市の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2023

年 青森県公立入試 類似)

1. 地方中枢都市として、政府の最先機関や企業の支店などが集中している。
2. 政令指定都市に指定されており、日本三名園の一つである後楽園がある。
3. 四国地方最大の都市であり、夏目漱石の小説の舞台としても知られる。
4. 本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の起点があり、交通の結節点となっている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問2	<b>答え 1</b> 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。	高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
問3	<b>答え 1</b> もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問4	<b>答え 1</b> 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問5	<b>答え 3</b> 松山市	愛媛県はみかんの栽培が非常に盛んな地域として知られており、2021年の統計では全国1位の和歌山県に次ぐ第2位の収穫量を記録しています。四国地方の各県の県庁所在地は、香川県が高松市、高知県が高知市、徳島県が徳島市、そして愛媛県が松山市です。愛媛県の松山市は、瀬戸内海に面した気候を活かした果樹栽培が特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 化学工業などの分野を中心とした製造業	徳島県は、京阪神に近い地理的条件や歴史的な背景から、化学工業や製薬業などの製造業が非常に発達しています。全就業者に占める製造業の割合は約4分の1に達しており、これは全国平均と比較しても高い水準にあることが、この県の産業構造の大きな特徴です。
問7	<b>答え 1</b> 遠浅の海を埋め立てて広大な工業用地を確保し、大型船が接岸できる港を整備したため	水島コンビナートを含む瀬戸内海沿岸の工業地域は、波が穏やかで水深が深い天然の良港に恵まれているだけでなく、埋立地によって大規模な工場建設に必要な広大な土地を確保しやすかったため、原材料を輸入に頼る石油化学や鉄鋼などの重化学工業が発展しました。
問8	<b>答え 1</b> 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。	問題文が指す都市は広島市である。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市であり、行政機関や企業の支社が集まっている。後楽園があるのは岡山市、四国最大で小説の舞台（『坊っちゃん』）として知られるのは松山市、瀬戸大橋の本州側の起点は岡山県倉敷市であるため、他の選択肢は誤りである。

問1 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良公立入試 類似）

1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
2. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
3. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
4. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため

問2 瀬戸内地方に位置する香川県の讃岐平野では、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴があります。日本海から中国山地、瀬戸内海（讃岐平野）、四国山地、太平洋へと続く断面図において、季節風が山地に遮られる様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため
2. 冬の湿った風が四国山地に、夏の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、季節を問わず上昇気流が発生しにくいいため
3. 太平洋からの湿った風が中国山地に、日本海からの湿った風が四国山地に遮られ、常に乾燥した空気が滞留するため
4. 夏と冬の湿った風がともに讃岐山脈に遮られ、瀬戸内海からの水蒸気が平野部に到達できなくなるため

問3 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。（2021年 埼玉公立入試 類似）

1. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。
2. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。
3. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。
4. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。

問4 1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋（児島・坂出ルート）」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 鹿児島公立入試 類似）

1. 瀬戸大橋
2. 明石海峡大橋
3. しまなみ海道
4. 青函トンネル

問5 四国地方に位置する4つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県が2つあります。その県名と、それぞれの県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 熊本公立入試 類似）

1. 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）
2. 徳島県（徳島市）と愛媛県（松山市）
3. 香川県（高松市）と高知県（高知市）
4. 愛媛県（高松市）と香川県（松山市）

問6 中国・四国地方の白地図において、瀬戸内海に面した中国地方西部の地域に位置する県の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 県庁所在地の広島市に、世界文化遺産である原爆ドームがある。
2. 県庁所在地の岡山市に、日本三名園の一つである後樂園がある。
3. 県庁所在地の山口市に、国宝の五重塔で知られる瑠璃光寺がある。
4. 県庁所在地の松江市に、国宝の城郭である松江城がある。

問7 愛知県、大阪府、広島県、高知県の4つの県の人口構成を比較したとき、60代から70代の層が厚く、15歳未満の若年層が極めて少ない「つぼ型」の人口ピラミッドを示す県として最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 愛知県
2. 大阪府
3. 広島県
4. 高知県

問8 瀬戸内の地域では、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いという気候の特徴があります。この気候が形成される仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 夏の湿った季節風が四国山地に、冬の湿った季節風が中国山地にさえぎられるため。
2. 一年を通じて安定した高気圧に覆われており、上昇気流が発生せず雲が作られないため。
3. 梅雨前線や台風の通り道から外れており、湿った空気が流れ込むことがほとんどないため。
4. 黒潮（日本海流）の影響により、周辺の海域で上昇気流が抑制され乾燥した空気が流入するため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問2	<b>答え 1</b> 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため	讃岐平野を含む瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置する地形となっています。冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地で遮られて雪を降らせ、山を越えた乾いた風が吹き込みます。反対に夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地で遮られて雨を降らせ、やはり山を越えた乾いた風が吹き込みます。このように、二つの高い山地に囲まれているために、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴が生じます。
問3	<b>答え 1</b> 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。	高知県は、南部の高知平野を中心に、黒潮がもたらす温暖な気候を最大限に利用しています。冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどでピーマンやなす、きゅうりなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培し、他の地域より早い時期に出荷する「促成栽培」が行われています。この方法は、野菜の価格が高い時期に市場へ供給できるため、農業産出額を押し上げる大きな要因となっています。一方で「抑制栽培」は長野県や群馬県などの高冷地で見られる手法であり、高知県の特色とは異なります。
問4	<b>答え 1</b> 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問5	<b>答え 1</b> 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）	四国地方では、徳島県と高知県は県名と市名が一致していますが、愛媛県は松山市、香川県は高松市が県庁所在地となっており、県名とは異なります。特に「松山市」と「高松市」は名称が似ているため、どちらの県の都市であるかを正確に把握しておくことが重要です。
問6	<b>答え 1</b> 県庁所在地の広島市に、世界文化遺産である原爆ドームがある。	中国地方の西部で瀬戸内海に面している地域は広島県を指します。広島県には県庁所在地の広島市があり、人類史上最初の原子爆弾の惨禍を伝える原爆ドームが世界文化遺産として登録されています。岡山県は中国地方の東部、山口県は中国地方の最西部、島根県は日本海側に位置しています。
問7	<b>答え 4</b> 高知県	高知県は、大都市圏である愛知県や大阪府、地方中心都市を持つ広島県と比較して、少子高齢化が顕著に進んでいます。若年層が仕事や教育を求めて県外へ流出する一方で、65歳以上の高齢者の割合が高まるため、人口ピラミッドは底が狭く、中高年層の幅が広い「つぼ型」に近い形状となります。
問8	<b>答え 1</b> 夏の湿った季節風が四国山地に、冬の湿った季節風が中国山地にさえぎられるため。	日本には夏と冬にそれぞれ海からの湿った空気を運ぶ季節風が吹きます。瀬戸内地域は、北側を中国山地、南側を四国山地という高い山々に挟まれているのが特徴です。夏は太平洋からの湿った風が四国山地にぶつかって雨を降らせ、冬は日本海からの湿った風が中国山地にぶつかって雪や雨を降らせます。その結果、山を越えて瀬戸内側に吹き込む風は乾燥した状態となるため、年間を通じて降水量が少なくなります。